

基盤共通教育基幹科目

2018

# 「山形から考える」ハンドブック



THINKING OUTSIDE YAMAGATA



山形大学  
Yamagata University

## 目次

### 02 受講にあたって

### 05 学習地域別マップ

### 07 授業紹介

### 47 現地講師からの 学び方

### 49 現地体験の服装

### 51 山形県の基礎情報

基盤共通教育の  
シラバスはこちら▶



## 03

### 授業一覧

#### 前期

- 07 地域の知恵と科学の力でエコ社会創り
- 08 地方で考える
- 09 山形の歴史と文化
- 10 戦国大名最上氏に注目して
- 11 地域体験スタートアップ
- 12 山形の歴史と文化
- 13 地域の中の大学
- 14 石造文化と折り
- 15 フィールドワーク 山形で働く魅力  
(ブレインターンシップ)
- 16 人間の生活と食の安全・安心 I
- 17 地圏の暮らしを地学する
- 18 山形大学って何だろう?
- 19 新聞で山形を知る
- 20 リーグと地域社会
- 21 フィールドワーク・月山  
ー景观から地域を読むー
- 22 「地域」と「学校」の関係から山形を考える
- 23 観光を考える
- 24 山形の森づくり体験
- 25 農業・農村の技術とマネジメントを学ぶ
- 26 リーダーシップ論入門1
- 27 山形から考える地域づくり
- 28 フィールドワークー共生の森がみ

#### 後期

- 29 雪国で考える
- 30 山形の火山、世界の火山
- 31 文化遺産からみた山形
- 32 グローバル社会で活躍するために  
ー国際派の先輩をお招きしてー
- 33 観光経済学と地域ブランド
- 34 人間の生活と食の安全・安心 II
- 35 キャリア形成とワークライフバランス
- 36 近代文学の中の山形
- 37 歴史民俗資料を読み解く
- 38 新聞で山形を知る
- 39 地圏の暮らしを地学する
- 40 仕事の流儀〜プロから学ぶ仕事のやりがい〜
- 41 山形から考える地域産業
- 42 雪とともに生きる体験
- 43 地域のにぎわいづくり体験
- 44 やまがたフィールド科学Ⅲ  
(雪との共生ー雪国の自然と生活ー)
- 45 リーダーシップ論入門2
- 46 ホンモノの地域貢献と地域活性化とは何か  
ー山形を元気にする企業家から学ぶー

## 受講にあたって

### 知徳体の調和ある 「人間力」を身につけよう

学士課程基盤教育機構長 安田 弘法

山形大学の教育は、より良く、より力強く生きる力である人間力と専門力を身につけるのが特色の一つです。知識や技能だけでなく知恵をつける「知」、思いやり・正義感・礼儀・知恵に基づく判断力・信頼等を含む「徳」、さらに心身ともに健康である「体」、これら知徳体の調和ある人間力を身につけることを目指して基幹科目「山形から考える」を開講しました。

知徳体の調和ある人間力を身につけるには、現場に出て学ぶ体験型授業やグループワークを含む協働学習が一助となります。そのような考えから、この「山形から考える」は、体験型授業や協働学習を含んでいるのが特徴です。

この授業は、山形をフィールドとして、体験型授業等を通じ文学や歴史等の文化現象、さまざまな社会活動や生活、自然と人間との共生等に関して、学び、考え、創り、知徳体の調和ある人間力を身につけることを目的としています。そして、人々の活動や自然と人間との関わりを山形という地域に学び、実践的な視点から知識や知恵を修得して、山形を初め日本や世界の動きを洞察し、さらに過去から現在、そして未来に起こりうる事象を予測する力も養います。

私達は、挑戦し経験することで考え、時には失敗して学ぶ、これらを通じて自ら成長します。「山形から考える」を受講して色々挑戦し、失敗しながら学んで下さい。「<sup>わか</sup>少くにして学べば、壮にして為すあり。壮にして学べば、老いて衰えず。老いて学べば、死して朽ちず」。これは、幕末の儒者、佐藤一斎が生涯の学びの重要性を示した「三学戒」です。「山形から考える」を楽しく学び、二度ない人生、知徳体の調和ある人間力と生涯学びの習慣を身につけて、みなさんが成長されることを期待しています。

### 地域学習タイプ

講義型 ● ● ● ● ● 体験型

|                                  |                                        |                                 |                |
|----------------------------------|----------------------------------------|---------------------------------|----------------|
| 教員による講義を重視し、現地学習や外部講師による授業は行わない。 | 現地視察（地域における受動的な学び）and/or 外部講師による講義を行う。 | 1日程度の地域での体験学習（地域における能動的な学び）を行う。 | 2日以上での体験学習を行う。 |
|----------------------------------|----------------------------------------|---------------------------------|----------------|

### 協働学習タイプ

個人 ● ● ● ● ● グループ

|                                           |                      |                      |                      |
|-------------------------------------------|----------------------|----------------------|----------------------|
| 個人による学習を重視し、協働学習（グループワークやプレゼンテーション）は行わない。 | 学習時間の1/4以下で、協働学習を行う。 | 学習時間の1/4以上で、協働学習を行う。 | 学習時間の1/2以上で、協働学習を行う。 |
|-------------------------------------------|----------------------|----------------------|----------------------|

# 授業一覧

講義型 ● ● ● ● ● 体験型 ● ● ● ● ● 個人 ● ● ● ● ● グループ ● ● ● ● ●

|    | 授 業 名                                   | 担当教員                       | 地域学習タイプ   | 協働学習タイプ   | 校時     | 定員  | ページ |
|----|-----------------------------------------|----------------------------|-----------|-----------|--------|-----|-----|
| 前期 | 1 地域の知恵と科学の力でエコ社会創り                     | 大谷 典正                      | ● ● ● ● ● | ● ● ● ● ● | 月 5.6  | 30  | 07  |
|    | 2 地方で考える                                | 東山 禎夫                      | ● ● ● ● ● | ● ● ● ● ● | 月 7.8  | 30  | 08  |
|    | 3 山形の歴史と文化                              | 荒木 志伸                      | ● ● ● ● ● | ● ● ● ● ● | 火 9.10 | 153 | 09  |
|    | 4 戦国大名最上氏に注目して                          | 松尾 剛次                      | ● ● ● ● ● | ● ● ● ● ● | 水 3.4  | 50  | 10  |
|    | 5 地域体験スタートアップ                           | 滝澤 匡                       | ● ● ● ● ● | ● ● ● ● ● | 水 5.6  | 30  | 11  |
|    | 6 山形の歴史と文化                              | 荒木 志伸                      | ● ● ● ● ● | ● ● ● ● ● | 水 7.8  | 153 | 12  |
|    | 7 地域の中の大学                               | 橋爪 孝夫                      | ● ● ● ● ● | ● ● ● ● ● | 水 7.8  | 30  | 13  |
|    | 8 石造文化と祈り                               | 荒木 志伸                      | ● ● ● ● ● | ● ● ● ● ● | 水 9.10 | 20  | 14  |
|    | 9 フィールドワーク 山形で働く魅力（プレインターンシップ）          | 松坂 暢浩                      | ● ● ● ● ● | ● ● ● ● ● | 水 9.10 | 60  | 15  |
|    | 10 人間の生活と食の安全・安心Ⅰ                       | 堀口 健一 / 平 智 / 藤井 弘志        | ● ● ● ● ● | ● ● ● ● ● | 木 7.8  | 50  | 16  |
|    | 11 地圏の暮らしを地学する                          | 丸山 俊明                      | ● ● ● ● ● | ● ● ● ● ● | 金 3.4  | 60  | 17  |
|    | 12 山形大学って何だろう？                          | 山本 陽史                      | ● ● ● ● ● | ● ● ● ● ● | 金 3.4  | 50  | 18  |
|    | 13 新聞で山形を知る                             | 山本 陽史                      | ● ● ● ● ● | ● ● ● ● ● | 金 5.6  | 50  | 19  |
|    | 14 Jリーグと地域社会                            | 下平 裕之                      | ● ● ● ● ● | ● ● ● ● ● | 金 7.8  | 30  | 20  |
|    | 15 フィールドワーク・月山-景観から地域を読む-               | 八木 浩司                      | ● ● ● ● ● | ● ● ● ● ● | 金 7.8  | 20  | 21  |
|    | 16 「地域」と「学校」の関係から山形を考える                 | 野口 徹                       | ● ● ● ● ● | ● ● ● ● ● | 金 7.8  | 50  | 22  |
|    | 17 観光を考える                               | 山田 浩久                      | ● ● ● ● ● | ● ● ● ● ● | 集中     | 20  | 23  |
|    | 18 山形の森づくり体験                            | 滝澤 匡                       | ● ● ● ● ● | ● ● ● ● ● | 集中     | 6   | 24  |
|    | 19 農業・農村の技術とマネジメントを学ぶ                   | 小沢 互                       | ● ● ● ● ● | ● ● ● ● ● | 集中     | 50  | 25  |
|    | 20 リーダーシップ論入門1                          | 阿部 宇洋                      | ● ● ● ● ● | ● ● ● ● ● | 集中     | 30  | 26  |
|    | 21 山形から考える地域づくり                         | 村松 真                       | ● ● ● ● ● | ● ● ● ● ● | 集中     | 20  | 27  |
|    | 22 フィールドワーク-共生の森もがみ                     | 小田 隆治                      | ● ● ● ● ● | ● ● ● ● ● | 集中     | 169 | 28  |
| 後期 | 1 雪国で考える                                | 東山 禎夫                      | ● ● ● ● ● | ● ● ● ● ● | 月 5.6  | 30  | 29  |
|    | 2 山形の火山、世界の火山                           | 伴 雅雄                       | ● ● ● ● ● | ● ● ● ● ● | 月 7.8  | 50  | 30  |
|    | 3 文化遺産からみた山形                            | 荒木 志伸                      | ● ● ● ● ● | ● ● ● ● ● | 火 3.4  | 153 | 31  |
|    | 4 グローバル社会で活躍するために-国際派の先輩をお招きして-         | 高橋 辰宏                      | ● ● ● ● ● | ● ● ● ● ● | 火 7.8  | 50  | 32  |
|    | 5 観光経済学と地域ブランド                          | 田北 俊昭                      | ● ● ● ● ● | ● ● ● ● ● | 水 3.4  | 42  | 33  |
|    | 6 人間の生活と食の安全・安心Ⅱ                        | 長谷 修 / 小笠原宣好 / 角田 憲一       | ● ● ● ● ● | ● ● ● ● ● | 木 7.8  | 50  | 34  |
|    | 7 キャリア形成とワークライフバランス                     | 井上 榮子                      | ● ● ● ● ● | ● ● ● ● ● | 木 7.8  | 25  | 35  |
|    | 8 近代文学の中の山形                             | 森岡 卓司                      | ● ● ● ● ● | ● ● ● ● ● | 金 3.4  | 50  | 36  |
|    | 9 歴史民俗資料を読み解く                           | 阿部 宇洋                      | ● ● ● ● ● | ● ● ● ● ● | 金 3.4  | 30  | 37  |
|    | 10 新聞で山形を知る                             | 山本 陽史                      | ● ● ● ● ● | ● ● ● ● ● | 金 5.6  | 50  | 38  |
|    | 11 地圏の暮らしを地学する                          | 丸山 俊明                      | ● ● ● ● ● | ● ● ● ● ● | 金 7.8  | 60  | 39  |
|    | 12 仕事の流儀～プロから学ぶ仕事のやりがい～                 | 松坂 暢浩 / 山本美奈子              | ● ● ● ● ● | ● ● ● ● ● | 金 7.8  | 160 | 40  |
|    | 13 山形から考える地域産業                          | 吉原 元子                      | ● ● ● ● ● | ● ● ● ● ● | 集中     | 20  | 41  |
|    | 14 雪とともに生きる体験                           | 滝澤 匡 / 阿部 宇洋               | ● ● ● ● ● | ● ● ● ● ● | 集中     | 6   | 42  |
|    | 15 地域のにぎわいづくり体験                         | 滝澤 匡                       | ● ● ● ● ● | ● ● ● ● ● | 集中     | 7   | 43  |
|    | 16 やまがたフィールド科学Ⅲ（雪との共生-雪国の自然と生活-）        | Lopez Caceres Maximo Larry | ● ● ● ● ● | ● ● ● ● ● | 集中     | 30  | 44  |
|    | 17 リーダーシップ論入門2                          | 阿部 宇洋                      | ● ● ● ● ● | ● ● ● ● ● | 集中     | 30  | 45  |
|    | 18 ホンモノの地域貢献と地域活性化とは何か-山形を元気にする企業家から学ぶ- | 浅野 茂 / 福島 真司 / 齋藤 志直       | ● ● ● ● ● | ● ● ● ● ● | 集中     | 30  | 46  |

# 学習地域別 マップ

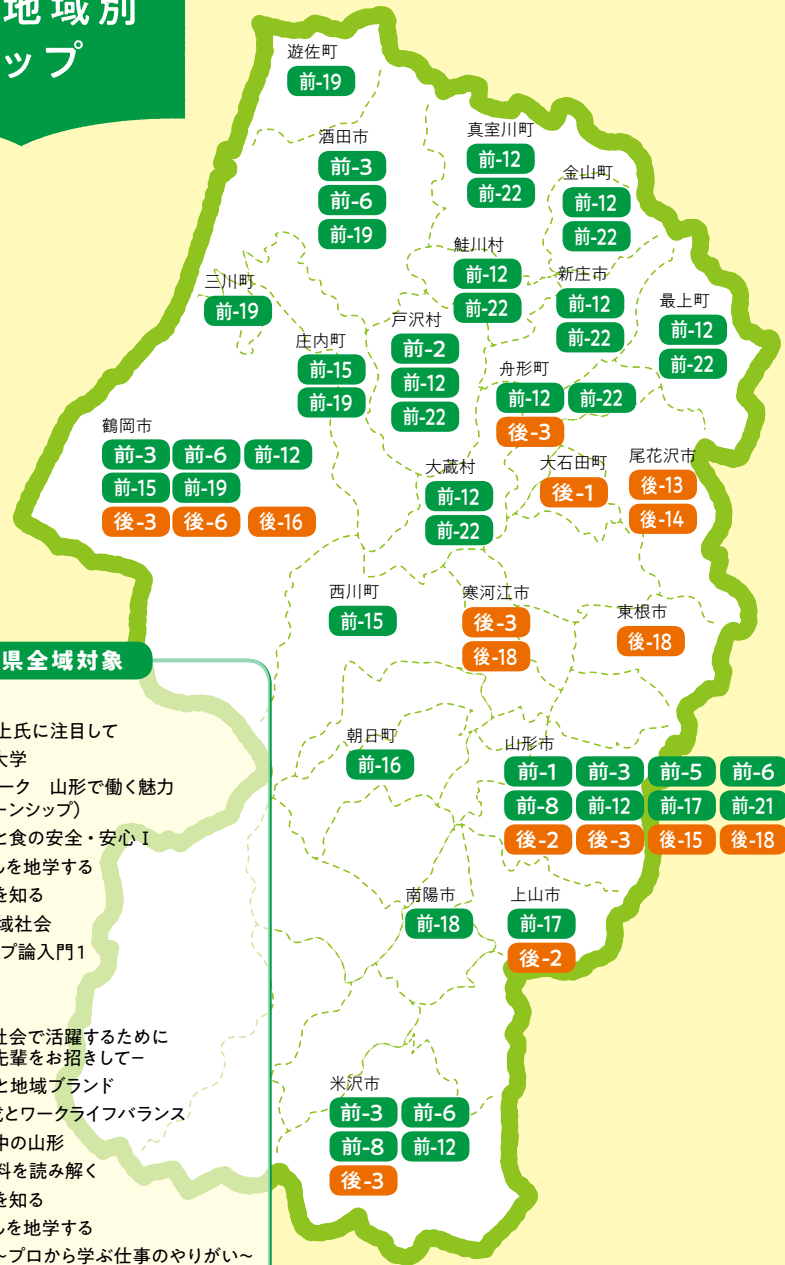
## 山形県全域対象

### 前期

- P10 戦国大名最上氏に注目して
- P13 地域の中の大学
- P15 フィールドワーク 山形で働く魅力  
(ブレインターンシップ)
- P16 人間の生活と食の安全・安心Ⅰ
- P17 地圏の暮らしを地学する
- P19 新聞で山形を知る
- P20 リーグと地域社会
- P26 リーダーシップ論入門1

### 後期

- P32 グローバル社会で活躍するために  
ー国際派の先輩をお招きしてー
- P33 観光経済学と地域ブランド
- P35 キャリア形成とワークライフバランス
- P36 近代文学の中の山形
- P37 歴史民俗資料を読み解く
- P38 新聞で山形を知る
- P39 地圏の暮らしを地学する
- P40 仕事の流儀～プロから学ぶ仕事のやりがい～
- P45 リーダーシップ論入門2



「山形から考える」の各授業では、学問としての知識や技術に加えて、山形各地の魅力に出会えます。他県出身の学生が山形に興味を持ち、4年間を通じて自ら探求するきっかけを見つけてくれることを期待しています。また、県内出身者にとっても、新たな山形の魅力に出会うことで故郷の素晴らしさを改めて感じる機会になると思います。

## 前期

- 前-1 P07 地域の知恵と科学の力でエコ社会創り
- 前-2 P08 地方で考える
- 前-3 P09 山形の歴史と文化
- 前-5 P11 地域体験スタートアップ
- 前-6 P12 山形の歴史と文化
- 前-8 P14 石造文化と祈り
- 前-12 P18 山形大学って何だろう？
- 前-15 P21 フィールドワーク・月山ー景観から地域を読むー
- 前-16 P22 「地域」と「学校」の関係から山形を考える
- 前-17 P23 観光を考える
- 前-18 P24 山形の森づくり体験
- 前-19 P25 農業・農村の技術とマネジメントを学ぶ
- 前-21 P27 山形から考える地域づくり
- 前-22 P28 フィールドワーカー共生の森もがみ

## 後期

- 後-1 P29 雪国で考える
- 後-2 P30 山形の火山、世界の火山
- 後-3 P31 文化遺産からみた山形
- 後-6 P34 人間の生活と食の安全・安心Ⅱ
- 後-13 P41 山形から考える地域産業
- 後-14 P42 雪とともに生きる体験
- 後-15 P43 地域のにぎわいづくり体験
- 後-16 P44 やまがたフィールド科学Ⅲ(雪との共生ー雪国の自然と生活ー)
- 後-18 P46 ホンモノの地域貢献と地域活性化とは何かー山形を元気にする企業家から学ぶー



## 地域の知恵と科学の力でエコ社会創り 前期

担当教員 | 大谷 典正

曜日校時 | 月曜日 5・6

### 授業の目的

プラスチックゴミを減らすために家庭でできることは何か？また、正しいリサイクルの方法は？  
ゴミ問題の現状を講義するとともに、化学実験を通して最先端のリサイクル技術への理解を深める。  
また、身の回りには未利用バイオマス資源が豊富にあることを実験で体感するとともに、地元山形の  
リサイクル団体の活動を紹介しながら、地域の知恵から自分たち市民レベルで可能な活動方法につ  
て考える。

### 授業内容

省資源・省エネルギーに役立つリサイクル社会を作り上げるために、家庭から持参したプラスチックゴミ  
のリサイクル方法を学ぶ。一方、みかんの皮に含まれるリモネンを利用した発泡スチロールのリサイ  
クル化学実験や、雑草からゴムを取り出す実験を体験して、「化学の力」を利用して「ゴミ・ムダ」か  
ら資源が生まれることを学習し、自分の立場で地球資源を守るためになにができるかについて考える。  
各課題に対して、それぞれが調査・考察をすすめ、講義内での議論を通じて理解を深める。

#### 授業で学べる山形関連情報

対象市町村：  
山形市



#### 地域学習タイプ

講義型 ● ● ● ● 体験型

#### 協働学習タイプ

個 人 ● ● ● ● グループ

#### 学生へのメッセージ

積極的に自分の考えを伝えるなどの活発な議論に参加すること。

## 地方で考える 前期

担当教員 | 東山 禎夫

曜日校時 | 月曜日 7・8

### 授業の目的

人口減少のひずみと高齢化が進んでいる地方においては、産業の空洞化、雇用の喪失、インフラの  
衰退などの問題が深刻化しています。人口減少先進地の山形県が現在抱える課題解決に向けて、若  
者の視点から、産業のありかた、人の生き方を考えながら、豪雪地帯である戸沢村を事例にとり、地  
域の活性化、地域創生の方法について探ります。

### 授業内容

講義により少子高齢化社会における問題点と課題  
を把握したうえで、山形県戸沢村役場の職員による  
講演を聞き、解決すべき課題を確認します。戸沢村  
を訪れて、村の様子を感じ取るとともに、住民の皆  
さんとの意見交換を行いながら、村の課題を確認す  
るとともに課題に対する理解を深めます。教室では  
グループに分かれて、課題解決に向けたアイデアを  
出し合い、討論を行いながら、実現可能な解決法  
を見出します。アイデアを提案書にまとめ、戸沢村  
を訪問して、村長、村役場職員、村民に対して課  
題解決のプレゼンテーションを行います。



#### 授業で学べる山形関連情報

対象市町村：  
戸沢村



#### 地域学習タイプ

講義型 ● ● ● ● 体験型

#### 協働学習タイプ

個 人 ● ● ● ● グループ

#### 学生へのメッセージ

教室での講義とグループ討論を経て、実現可能なアイデアを提案します。仲間とのコミュニケーション  
能力と発想力が求められます。考える力にはつきません。考えるときは言葉を使いますので、本  
を読む習慣をつけるとともに、色々な本から言葉を獲得していく必要があります。仲間とのグループ討  
論でも、相手が理解できる言葉を自分の中に積み上げていく機会となりますので、グループ活動を積  
極的に利用して下さい。

# 山形の歴史と文化

前期

担当教員 | 荒木 志伸

曜日校時 | 火曜日 9・10

## 授業の目的

山形について歴史及び文化的視点から学び、地域への理解を深める授業です。山形大学に在籍している4年間はもちろん、卒業後も山形という土地とそこで触れた文化に少なからず影響されるところが多いはず。『地域』を知ることは、自らの生まれ育った場所を認識することであり、『自己』を発見することでもあります。山形で生まれ育った人も、初めて来られた人も、本授業で山形についての理解を深めてください。

## 授業内容

事前に各自Web Classで課題を提出し、予習をおこなった上で授業に臨みます。基本的に講義形式で進めます。前半5回は山形の歴史について、後半5回は山形の文化(食文化、人物、伝統工芸など)を学びます。



### 授業で学べる山形関連情報

対象市町村:

山形市、鶴岡市、酒田市、米沢市など

上記の市町村を中心として、山形の豊かな歴史と文化に関する基礎知識を得ることができます。



### 地域学習タイプ

講義型 ● ● ● 体験型

### 協働学習タイプ

個人 ● ● ● グループ

## 授業PR

### 【受講者の感想】

- 山形出身なのに、知らないことばかりだった。山形には何もないと思っていたので驚いた(人文1年)。
- 地元に戻ったら、自慢したい山形ネタを得られた(工学1年)。
- 山形県外から来て、何か特別なものがあるのかと思っていたが、むしろ誇りに思うようになった(地教1年)。
- これからの4年間のなかで、見てみたいもの、体験したいもの、食べてみたいものが増えて楽しみに(医学1年)。

### 【授業評価】

学生による授業評価(総合平均)は4.76/5、4.81/5で、受講生の多くが満足

# 戦国大名最上氏に注目して

前期

担当教員 | 松尾 剛次

曜日校時 | 水曜日 3・4

## 授業の目的

本講義では、山形を代表する戦国大名である最上氏に注目します。最上義光などについての講義を受けた上で、最上義光歴史館、山形城などを訪問し、最上氏と山形との関わりについて自分で調査・発表し、自分で考え、創ることを目的としています。

## 授業内容

講義、最上義光歴史館、山形城などの訪問で学んだ成果を発表し、レポートにまとめます。

- |                          |                        |
|--------------------------|------------------------|
| 第1回 オリエンテーション(講義の概要説明)   | 第9回 グループ調査(県立図書館などで調査) |
| 第2回 義光-幼少から家督を継ぐまで(講義)   | 第10回 調査報告(1)           |
| 第3回 義光-羽州探題の再興を目指して(講義)  | 第11回 調査報告(2)           |
| 第4回 最上義光歴史館、山形城などを訪問     | 第12回 調査報告(3)           |
| 第5回 初代山形藩主への道(講義)        | 第13回 調査報告(4)           |
| 第6回 義光のその後を追う(講義)        | 第14回 調査報告と反省           |
| 第7回 最上氏についての「まとめ」とグループ分け | 第15回 まとめ               |
| 第8回 (朝日)新聞を使った情報収集講座(予定) |                        |

### 授業で学べる山形関連情報

対象市町村:

山形県全域

最上義光歴史館、山形城を訪問し、最上氏と山形との関わりについて調査します。



### 地域学習タイプ

講義型 ● ● ● 体験型

### 協働学習タイプ

個人 ● ● ● グループ

## 学生へのメッセージ

グループ学習・レポート作成、現地調査など作業の多い授業と思って積極的に受講しましょう。

# 地域体験スタートアップ

前期

担当教員 | 滝澤 匡

曜日校時 | 水曜日 5・6

## 授業の目的

- 人口問題を中心とした、日本全体及び地方（山形）の現状と将来的課題を講義により学習します。
- 山形の魅力的な歴史・文化・自然・人物・企業などを学習し、地方創生につながる地域の可能性を理解します。
- 大学周辺の地域活動に参加する地域体験により、地域の現状と課題を知ることができます。
- 講義でのグループワーク、地域活動での協働により、年齢や背景の異なる人々の組織で活動する楽しみに出会え、社会人力を向上させることができます。

## 授業内容

【全国及び山形に関連する12回の講義】と【地域体験】（1日程度）を行う。  
講義：地域の現状と課題、山形の魅力を複数の教員のリレー形式により実施する。  
地域体験：グループにわかれ、社会福祉協議会や子育て成会と連携した地域活動に参加する。

1. ガイダンス
  2. 日本の現状①＋グループワーク
  3. 日本の現状②＋グループワーク
  4. 地方（山形）の現状①＋グループワーク
  5. 地方（山形）の現状②＋グループワーク
  6. 地域学習にむけた心得＋グループワーク
  7. 山形の魅力ある歴史  
（学士課程基盤教育機構・阿部宇洋先生）
  8. 山形の魅力ある自然  
（地域教育文化学部・八木浩司先生）
  9. 山形の魅力ある文化（阿部先生）
  10. 山形の魅力ある人物  
（地域教育文化学部・三上英司先生）
  11. 山形の魅力ある企業  
（学士課程基盤教育機構・松坂暢浩先生）
  12. 山形の魅力ある農業
- + 【地域体験】（6月～9月の週末や休日に、大学周辺の地域活動へ1日程度参加する）

### 授業で学べる山形関連情報

#### 対象市町村：山形市

- 講義による学習では…  
①人口問題を中心とした山形県の課題  
②山形の魅力ある地域資源  
地域体験での学習では…  
①大学周辺の地域活動の運営の楽しみ  
②地域が抱える課題と魅力



### 地域学習タイプ

講義型 ● ● ● ● ● 体験型

### 協働学習タイプ

個人 ● ● ● ● ● グループ

## 授業PR

座学により地域の現状と課題、それらを解決する糸口となる地域の魅力を学びます。それらを基礎知識として、大学周辺の地域活動に参加します。  
自分たちが暮らす地域がどのような人々により支えられているのか学び、将来自分たちが担っていく気概を持ってくれるとうれしいです。

# 山形の歴史と文化

前期

担当教員 | 荒木 志伸

曜日校時 | 水曜日 7・8

## 授業の目的

山形について歴史及び文化的視点から学び、地域への理解を深める授業です。山形大学に在籍している4年間はもちろん、卒業後も山形という土地とそこで触れた文化に少なからず影響されるところが多いはず。『地域』を知ることは、自らの生まれ育った場所を認識することであり、『自己』を発見することでもあります。山形で生まれ育った人も、初めて来られた人も、本授業で山形についての理解を深めてください。

## 授業内容

事前に各自Web Classで課題を提出し、予習をおこなった上で授業に臨みます。基本的に講義形式で進めます。前半5回は山形の歴史について、後半5回は山形の文化（食文化、人物、伝統工芸など）を学びます。



### 授業で学べる山形関連情報

対象市町村：  
山形市、鶴岡市、酒田市、米沢市など

上記の市町村を中心として、山形の豊かな歴史と文化に関する基礎知識を得ることができます。



### 地域学習タイプ

講義型 ● ● ● ● ● 体験型

### 協働学習タイプ

個人 ● ● ● ● ● グループ

## 授業PR

### 【受講者の感想】

- 山形出身なのに、知らないことばかりだった。山形には何もないと思っていたので驚いた（人文1年）。
- 地元に戻ったら、自慢したい山形ネタを得られた（工学1年）。
- 山形県外から来て、何か特別なものがあるのかと思っていたが、むしろ誇りに思うようになった（地教1年）。
- これからの4年間のなかで、見てみたいもの、体験したいもの、食べてみたいものが増えて楽しみに（医学1年）。

### 【授業評価】

学生による授業評価（総合平均）は4.76/5、4.81/5で、受講生の多くが満足

## 地域の中の大学

## 前期

担当教員 | 橋爪 孝夫

曜 日 校 時 | 水曜日 7・8

## 授業の目的

山形大学と地域の関係を題材に、世の中における物の見方、考え方を学びましょう。教養的学びの一環として、世界を知ることによって改めて自分を知り、生涯の学びを豊かにすることが目的の授業です。

## 授業内容

山形県における大学と地域の関係を主たるテーマとしたグループ協働による課題探究型学習を行います。

1. チーム分け、講義の進め方とガイダンス
  2. テーマの中での考究課題の設定と全体の運営について
  3. 全体スケジュール、担当グループ、発表順の決定
  - 4-7. 各グループの企画発表と予備討論
  8. 中間報告会
  - 9-13. 最終報告会に向けての準備
  14. 最終報告会
  15. 振り返りと評価
- (以上は予定。授業の進捗により変化)



## 授業で学べる山形関連情報

対象市町村：  
山形県全域

山形県における大学と地域の関係について、グループごとに自分達で選択した大学と地域について学びます。



## 地域学習タイプ

**講義型** ●——●——●——● **体験型**

協働学習タイプ<sup>①</sup>

個人 ●—●—●—● グループ

## 授業PR

皆さんは大学を卒業した後、身につけた力を世の中にどのように活かすのでしょうか。この授業での活動は現段階での力試しです。そして人は一人では生きていけません。人間が社会的な生き物である以上、その力を発揮するためには、様々な形で他者との協働が必要となります。

授業を通して個の力を世の中で活かす術を身につけましょう。

# 石造文化と祈り

## 前期

担当教員 | 荒木 志伸

曜 日 校 時 | 水曜日 9・10

## 授業の目的

石造文化財を通じて、それらに対する民衆の信仰を取り上げて考察します。山形には、独特の石造文化財が多く残っています。具体的には石仏、磨崖仏、板碑、五輪塔、層塔、宝篋印塔、多宝塔、庚申塔、石塔婆、墓標、道祖神、草木塔等を取り上げて、民衆の信仰や生活・社会と関連づけながら考えていきます。

## 授業内容

はじめに、7回分の講義で、石造文化に関する基礎的な知識を得ます。第8回～10回で学内フィールドワーク・ディスカッションをおこなった上で、現地実習（7月の土曜日を予定）に参加していただきます。草木塔をはじめとする石造文化を直に観覧し、考察した内容をレポートしていただきます。



## 授業で学べる山形関連情報

対象市町村：  
米沢市・山形市

米沢市や山形市の石造文化財を中心に、山形の豊かで独特な歴史文化に触れていきます。



## 地域学習タイプ

講義型 ●●●●● 体験型

協働学習タイプ<sup>①</sup>

個人 ● — ● — ● グループ

## 授業PR

中学・高校で日本史を本格的に学んでいない方でも、わかるような解説を心がけていきます。特に、マニアックな文化財を、直に見てみたいという人を歓迎します。

山形には独特の信仰形態がたくさんあります。例えば草木塔は、山形が発祥と考えられる石塔です。さまざまな謎について、一緒に考えていきましょう。なお、現地実習の参加費等は自己負担となります。







# 地圏の暮らしを地学する

前期

担当教員 | 丸山 俊明

曜日校時 | 金曜日 3・4

## 授業の目的

地球表層は岩石・水・大気そして生物によって取り囲まれており、それぞれ地圏(岩石圏)・水圏・気圏・生物圏として認識されています。私たちが生活している大地、すなわち地圏が永い変動を経て今日の姿に至ったことを解説します。この講義では、私たち日本人が地球上のどのような場所に暮らしているのかを地球科学的に考察し、地球表層で起こったさまざまな環境変化や生物進化の歴史が地層や化石に記録されているようすを紹介し、地球科学的な観点から日本の中の山形、世界の中の山形という動機付けを会得してください。

## 授業内容

1. ガイダンス、あなたと地圏とのかかわり
2. 島弧-海溝系としての日本列島、あなたはどこに住んでいますか
3. 火山と日本列島、火山災害から命を守る
4. 地震と日本列島、マグニチュードって何ですか
5. 火山と火成岩、あなたの家の墓石は何ですか
6. 地球の歴史と生命の進化、生きている化石
7. 地球の歴史と生命の進化、恐竜からヒトまで
8. 地質年代と系統、T・レックスとジュラシックパーク
9. 生物の名前と地層の名前、山形大海牛を知っていますか
10. 地下水と地盤沈下、山形名物の無散水消雪って何ですか
11. 新しい大地をつくる、関西新空港の秘密
12. プレートテクトニクス、VLBIって何のこと
13. 深海調査、潜って調べて(または過去の津波に学ぶ)
14. 深海調査、進め「ちきゅう」
15. 期末考査(授業のまとめと期末試験)

## 授業で学べる山形関連情報

### 対象市町村: 山形県全域

題材としては、例えば1000万年前に山形盆地を泳いでいた海牛化石などを取りあげて身近な郷土の過去の姿を探ったり、山形市内で実用化されている地下水を使った消雪システムなど、現実の生活に深くかかわったテーマも扱います。



## 地域学習タイプ

講義型 ● ● ● ● ● 体験型

## 協働学習タイプ

個人 ● ● ● ● ● グループ

## 受講者の感想

- 山形で生まれ育ったが、はじめて聞く話ばかりだった。
- 小学校の遠足で行った県立博物館にもう一度行ってみようと思った。
- 受験で来た時に駅前に雪がなかった理由がわかった。
- 自分がどんなところに住んでいるのか気がついた。

# 山形大学って何だろう?

前期

担当教員 | 山本 陽史

曜日校時 | 金曜日 3・4

## 授業の目的

あなたは山形大学のことをどのくらい知っていますか? そんな問いに対してあなた自身が答えを出す授業です。山大生の皆さん自身が山形大学のなりたちや現在の姿を調べ、プレゼンテーションとパンフレットを作成し、その魅力を外部に広く発信していきます。

## 授業内容

授業では以下3つのことのための準備を行ったり、必要なスキルを学びます。

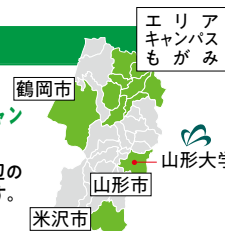
1. 2018年度オープンキャンパスに来場する保護者向けに山形大学についてプレゼンテーションを行います。8月3日(金)米沢キャンパス、4日(土)小白川キャンパスの予定。
2. 小白川キャンパスを訪問する高校生やPTA会員に対してキャンパスを案内したり、山形大学についてのプレゼンを行います。
3. パンフレット『山形大学って何だろう? 2019』を作成し、来年の新入生に配ります。



## 授業で学べる山形関連情報

対象市町村: 山形市・米沢市・鶴岡市・「エリアキャンパスもがみ」授業実施自治体

山形大学の各キャンパスとその周辺のさまざまな情報を知ることができます。



## 地域学習タイプ

講義型 ● ● ● ● ● 体験型

## 協働学習タイプ

個人 ● ● ● ● ● グループ

## 授業PR

この授業は特に以下のようなあなたへの特効薬です。センター試験の成績とか、地元だからだとか、周囲の勧めでとか、自分の意思よりも別の理由で入学した人/入学したけれど正直「ちょっと不本意」と思っている人/大学に入る目標が実現してしまい、実は次の目標が見つからない人/自分が学ぶ大学のことを知りたいけれどどこから手をつければいいのかわからない人……えいやっとまとめると、何かもやもやした気分を持っているあなた、山大について深く知ることですっきりした気分になりましょう。もちろん山大をさらに深く知りたいというあなた、プレゼン能力を伸ばしたいあなた、書籍編集を通して得意(あるいは苦手?)な文章・写真・イラストの才能を発揮したいと思っているあなたも歓迎です。

# 新聞で山形を知る

前期

担当教員 | 山本 陽史

曜日校時 | 金曜日 5・6

## 授業の目的

この授業では山形県全域をカバーする山形新聞の記事を題材にして、山形の社会・文化の現状についてのニュースを読んで分析するとともに、「山形から見ると日本・世界はどう見えるか、その動きが山形とどのようにかわっているのかを分析し、的確な情報収集・分析力を身につけていきます。また、新聞記事の構成や文体を分析し、「伝わる」日本語の文章の書き方をマスターします。

## 授業内容

毎回当日の山形新聞を中心に、タイムリーな新聞記事を取り上げ、その記事の背景を解説するとともに、その記事を手がかりにして調査や話し合いをします。また、何回かは全国紙（読売・朝日・毎日など）やブロック紙（河北新報）と同じ話題を取り上げた記事を取り上げ、比較します。また、新聞の文章を分析し、それにならって新聞記事風のレポートを複数回書いていただきます。レポートには添削を加え、改善すべき点を指摘しながら、各自の最終レポートを仕上げていきます。

### 授業で学べる山形関連情報

対象市町村：  
山形県全域

県内で起きているさまざまな社会現象や文化活動、山形が現在置かれている状況、山形の歴史や将来像などを知ることができます。



### 地域学習タイプ

講義型 ● 体験型

### 協働学習タイプ

個人 ● グループ

## 授業PR

新聞を読むのは億劫だという人の参加も歓迎します。新聞なんて読まなくてもネットでニュースはわかるから新聞は不要という考えは安易すぎます。新聞は単にニュースを伝えるための道具ではありません。理系文系を問わず、社会常識を知り、新聞記事のような文章を書けるようになることは社会人になるため、社会人として活躍するためになる武器を手に入れたことになるのです。将来の就職活動に向けて、かならず役に立つ授業です。

# Jリーグと地域社会

前期

担当教員 | 下平 裕之

曜日校時 | 金曜日 7・8

## 授業の目的

スポーツは文化であると同時に経済活動でもあります。この授業ではそのような観点から、Jリーグやモンテディオ山形をテーマに、プロスポーツクラブのマネジメント（経営）のあり方や、スポーツと地域社会との関係について学び、今後の課題について考えることを目的としています。

## 授業内容

ワークショップ方式による通常の授業に、モンテディオ山形のスタッフを講師に招いての講演・意見交換会やNDソフトスタジアムでの現地体験授業、試合を支えるボランティア体験などを組み合わせ、プロスポーツクラブの経営のあり方、地域社会づくりに果たす役割などについて勉強します。詳しくはガイダンスの際に説明します。



### 授業で学べる山形関連情報

対象市町村：山形県  
(モンテディオ山形のホームタウン)

・モンテディオ山形スタッフの講演を通じて、プロスポーツチームの経営のあり方や地域における役割を学べます。  
・スタジアム体験授業やボランティア体験により、実際の試合の運営の仕組みやサポーターの意識・考え方が理解できます。



### 地域学習タイプ

講義型 ● 体験型

### 協働学習タイプ

個人 ● グループ

## 授業PR

この授業はモンテディオ山形のスタッフの皆様やサポーターとの交流、試合観戦などを通じて、プロスポーツクラブの魅力や課題をより身近なものとして体験することを目指しています。サッカーが好きな人、スポーツが好きな人、これから考えてみたい人など、さまざまな皆さんの参加をお待ちしています。

## 前期

担当教員 | 八木 浩司

曜 日 校 時 | 金曜日 7・8

## 授業の目的

- 地域は、さまざまな空間・時間スケールの現象がオーバーラップし、かつ時間性をもって醸成されてきたカオスな存在です。この授業では、その表象である景観を読み取り地域性を捉えるスキルを学びます。
- 自然科学から人文科学までの知識や考え方を絡めて、多雪・変動帯の更新世火山であり、しかも修験の地でもあった、まさにカオスな月山を事例としてあげながら、その地域性が醸成されてきたプロセスまでを多分野学際的に捉えるテクニックを磨きます。
- ここで学んだスキルは、皆さんが山形を遠く離れて海外で活躍するようになった場合でも、そこが、どのような場所で如何に興味深いところかをポジティブに捉えられるようになることを目指しています。

## 授業内容

4・5月は教室での座学で月山に関する自然と歴史に関する基礎知識を学びます。それらの基礎知識をもとに、関心のある分野ごとに履修者らがグループを構成し、フィールド学習のテーマを選びます。さらにグループ毎に選んだテーマについて自ら研究を深め、その成果のプレゼンテーションを行い、質疑を通して履修者全員に月山で学べることの理解を深めていきます。最終的に、週末を利用した集中講義形式で実施するフィールドワークで、学んだことを確認するとともに、机上で学んだ知識と現場で見たり触れたりする現象とのギャップを知ることによって理解を深めていきます。



## 授業で学べる山形関連情報

対象市町村：西川町大井沢地区・志津地区、  
鶴岡市羽黒地区、庄内町立谷沢川流域

・出羽丘陵の成立と月山火山群の発達  
・多雪地域がなぜ形成されるか  
・多雪がもたらす地形と植生・偽高山帯の特徴  
・地形・気候・植生がもたらす山の恵みと利用技術の開発と伝承



## 地域学習タイプ

講義型 ●——●——●——● 体験型

協働学習タイプ<sup>①</sup>

個人 ——— グループ

## 学生へのメッセージ

多分野学際的な授業になるので、様々な現象を繋げる柔軟性と思考の切り替えが必要です。授業形式以外に、フィールド学習を行うので歩いて学ぶ姿勢が必要です。

この授業では、テキストに書かれていることのみを覚えるものではありません。フィールドにおいては、それらの現象は、他の現象とオーバーラップし渾然となっていることから、意識しないと見つけ出すことは困難です。単なる断片的な知識を、意識によって他の現象と繋がりのある応用可能な知識としていくことを学んでほしいと断片します。

## 「地域」と「学校」の関係から山形を考える

前期

担当教員 | 野口 徹

曜 日 校 時 | 金曜日 7・8

## 授業の目的

- これからの時代において、地域と学校はどのような「共生」関係を目指していくべきなのか、という点についてそれぞれの立場や役割について具体的な様子を基に考察していきます。
- 山形における実際の地域と学校の「共生」を求める取り組みを分析するとともに、これから現代社会の価値の多様化、グローバル化等の大きな変化に対応することを見通して、学生生活でどのような学びを深めていくべきか、考察することを目指します。

## 授業内容

最初に、「地域」とは何か。「学校」とは何をするところか、ということについて様々な情報と学生の皆さんの経験を通して考察します。次いで、「地域から学校が無くなる」という現象について全国各地の事例を通して分析します。さらに、山形県内における「地域と学校の共生」に関する事例について検討していきます。特に、朝日町において実際に取り組んでおられる方をゲストに招いて具体的な様子についてお話をうかがいます。最後の段階では、全員がグループに分かれて、「自分たちが将来山形で生活をした場合、学校とこのようなかわり方を提案していきたい」という「企画」を作成し、全体討論を行います。詳細についてはオリエンテーションで紹介します。



## 授業で学べる山形関連情報

対象市町村：  
朝日町

朝日町における「地域」と「学校」とが相互に関連し合い、地域の暮らしの豊かさを追究していく実際の取り組みについて、ゲストの講話や資料などを分析する活動から学びます。



## 地域学習タイプ

[illegible]

## 協働学習タイプ°

個人 ●—●—●—● グループ

## 学生へのメッセージ

「山形において地域と学校との共生のあり方を本格的に考える」という発想のもと、「自分たちが将来山形で生活をした場合、学校とこのようなかわりを提案していきたい」という企画を発表することがゴールとなります。そのため、自分のこれまでの人生経験と各種の資料のもとらす内容とを比較しながら「自分だったらこうしたい」といった、自分らしさを出していくような積極的な取り組みを期待しています。



## 観光を考える

## 前期

担当教員 | 山田 浩久

曜 日 校 時 | 集 中

## 授業の目的

人文現象の中でも特に観光に焦点を絞り、山形の将来を見据えた観光の方向性を探ります。観光学というよりは、観光という行動による満足や創出過程を観光者と観光地の双方の視点で考えながら、地域活性化の一手法として取り上げられることの多い観光について、基礎的な知識を得ることを目的とします。

## 授業内容

観光に関する簡単な座学を行った後、山形の観光地に赴き現地学習を進めます。その後、グループワークによって他者と意見交換を行い、グループ単位で今後の方向性をまとめていきます。



## 授業で学べる山形関連情報

対象市町村：  
山形市、上山市

1日目には、山形市の中心市街地を巡り、市街地の形状や観光施設の配置を理解してもらいます。2日目には、蔵王温泉地区、上山市の温泉地区に訪れ、それぞれを比較しながら山形の観光地の特徴を説明します。



## 地域学習タイプ

講義型 ●●●●● 体験型

協働学習タイプ<sup>①</sup>

個人 ● — ● — ● グループ

## 学生へのメッセージ

- 観光やまちづくりに興味のある学生を歓迎します。
- 専門的な知識や技術を身に付けるというような授業ではなく、現地を見て考えてもらうという授業なので、授業自体の負荷は小さいと思いますが、遅刻・欠席は大幅な減点対象となります。
- 先方の都合や天候によって見学場所が変更される場合があります。

## 山形の森づくり体験

## 前期

担当教員 | 滝澤 匡

曜 日 校 時 | 集 中

## 授業の目的

- 下草刈りや歩道敷設など森林整備作業を行い、山形の豊かな自然を体験的に学習します。
- 山形の魅力を五感で学び、深みある知識として修得することで、山形や地域への関心を高めてくれることを期待しています。
- 学外の方々とグループで作業することを通じて、組織で活動する際に必要なコミュニケーション力や、自ら作業を見つけて出す行動力を向上させることができます。

## 授業内容

NDソフトウェア株式会社・山形県・南陽市が共同で行う森林整備活動「こもれびの郷プロジェクト」に参加します。5月～9月にかけて月に一度（土曜日）森に入って活動し、鉋（ナタ）・鋸（ノコギリ）・鎌などを使い下草刈りや歩道敷設を行います。夏場の野外作業になりますが、女子学生（過去受講者の約半数を占める）や女性社員の方々も楽しく活動されています。

●日程 1.ガイダンス→2.履修決定→3.事前打合せ→4.現地での演習 5月～9月 合計約5日間



## 授業で学べる山形関連情報

対象市町村：  
南陽市

森林整備作業を通じて山形の豊かな自然を学びます。

地域学習タイプ<sup>6</sup>[illegible]

## 協働学習タイプ®

個人 ●—●—●—● グループ

## 授業PR

地域の方々とともに汗を流す協働作業を通じて、社会で求められる力を向上できる授業としても、学生たちから好評です。

【過去の受講者の感想】●自然を想い、守る心を感じることができた。●山形でしかできない本当に貴重な経験ができた。●森での作業では自分から主体的に動かないといけない場面が多く、考えて行動することの重要性を感じた。●1つの目的に向け、多くの人と協力して作業する難しさと楽しさを知ることができた。

【社会人力の向上】学生自身によるコミュニケーション力やチームワークなどの評価が3.2（受講前）→4.1（受講後）と変化

【授業評価】 学生による授業評価は4.8/5 (H29: Q 総合的に判断すると良い授業でしたか?)



## 農業・農村の技術とマネジメントを学ぶ

## 前期

担当教員 | 小沢 亘

曜 日 校 時 | 集 中

## 授業の目的

庄内地方の農家に宿泊して現場での農業生産業務を経験することで、現代農業の現状や問題点を理解し、就労について考える。

## 授業内容

夏季休業中に5泊6日程度、グループで農家に泊まり込み、実習を体験する。  
実習先、実習の日程については、受け入れ先との調整により決定する。  
実習内容は受入農家によって変わる。

## 日程

4月12日 説明会と受講申込み  
7月下旬 事前ガイダンス  
夏季休業中 実習（5泊6日の予定）  
1日目（午後）直前ガイダンス、開講式  
2日目（終日）農家での実習  
3日目（終日）農家での実習  
4日目（終日）農家での実習  
5日目（終日）農家での実習  
6日目（午前）農家での実習、閉講式（終了後解散）

## 授業で学べる山形関連情報

対象市町村：  
鶴岡市、酒田市、  
三川町、庄内町、遊佐町



## 地域学習タイプ

講義型 ●——●——●——● 体験型

協働学習タイプ<sup>o</sup>

個人 ● — ● — ● — ● グループ

## 授業PR

実習先では、集団で実習・生活することになり、実際の農業生産業務を通じて農業の実状を学び、農業、農学について友人と話し合うよい機会になります。

鶴岡までの交通費が個人負担となる予定です。

講義の詳細は4月12日(木) 12:10-12:50 に212教室で行う説明会で説明します。

# リーダーシップ論入門 1

## 前期

担当教員 | 阿部 宇洋

曜 日 校 時 | 集 中

## 授業の目的

リーダーシップは特別な理論ではなく、日々の生活に存在します。これから、学生生活、社会生活を送るために、必要な力です。一般的な認識ではカリスマ型リーダーシップをモデルにする場合が多いです。しかし実際に必要とされるのは、関係性リーダーシップであり、本講義では山形で活躍する様々なゲスト講師を招き、リーダーシップの本質を探りながら各自の今後の目標を設定し成長できるようにすることを目的とします。

## 授業内容

4日間で行う集中講義になります（オリエンテーション1回、集中講義3日）。  
ゲストを変えながら、下記項目を6回（1日2回）実施します。

- ・講義 (30分)
- ・ゲスト講師講演 (1時間)
- ・話を聞いて、まとめと質問を考える (30分)
- ・ゲスト講師との議論 (1時間)
- ・全体のまとめ、発表 (30分)



## 授業で学べる山形関連情報

対象市町村：  
山形県全域

全域対象とした、ゲスト講師との  
議論。



## 地域学習タイプ

講義型 ●●●● 体験型

協働学習タイプ<sup>①</sup>

個人 ●—●—●—● グループ

## 授業PR

山形で活躍する様々なゲストと話し合う講義です。グループワーク中心になります。



# 雪国で考える

## 後期

担当教員 | 東山 禎夫

曜 日 校 時 | 月曜 日 5・6

## 授業の目的

雪国は人口減少と高齢化が進んでおり、特に、冬季に屋根雪下ろしや宅地内の雪処理など雪国特有の課題を抱えています。一方、雪の冷熱を利用した農作物の保存や雪まつりなど利雪・親雪の取り組みも行われています。雪の性質を正しく知ること、雪問題への対策が可能となります。山形県内でも豪雪地帯である大石田町を事例にとり、若者の視点から地域の活性化、地域創生の方法について探ります。授業の最後には、高齢者宅で除雪ボランティアを行い、雪国の除雪ボランティアの意義を考えます。

## 授業内容

雪国特有の問題、雪の科学、雪処理に関する講義の後、山形県大石田町役場職員の講義により、町現状と抱える課題を聞いたうえで、大石田町を探訪し、雪室を見学したり最上川の船運の歴史を感じたり、町の実情や空気を肌で感じとる。教室では4~5人のグループに分かれ、町の課題解決に向けてグループでアイデアを出し合いいいアイデアに仕上げていきます。降雪期に除雪ボランティアとして、高齢者宅で村の人と一緒に除雪作業を行います。



## 授業で学べる山形関連情報

対象市町村：  
大石田町

地域学習タイプ<sup>o</sup>

講義型 ●●●●● 体験型

## 協働学習タイプ°

個人 ● — ● — ● — ● グループ

## 授業PR

考える力にはすぐにはつきません。考えるときは言葉を使いますので、本を読む習慣をつけながら色々な本から言葉を獲得していく必要があります。仲間とのグループ討論でも、相手が理解できる言葉を自分の中に積み上げていく機会となりますので、グループ活動を積極的に利用して下さい。

【受講者の感想】●豪雪地帯での雪かきを実際に経験し、雪かきが大変な重労働であると改めて実感しました。今回伺ったような、高齢者の一人暮らしのお宅では雪かきが十分にできないので、近所での助け合い、「近助」のような考え方がとても重要だと感じました。しかし、人口減少が進んでいる地域では、高齢者の割合が高い地区もあり、近所の助け合いだけでは十分に除雪作業ができるだけの人数が確保できない場合も考えられます。高齢化・人口減少が進む中で、除雪ボランティアは重要な活動であると感じました。(工学部1年) ●この授業を終えてみて1番感じたことはたくさんのことを体験できた盛りだくさんの授業だったということである。講義、フィールドワーク、グループワーク、プレゼンテーション、レポートなど大学で行うほとんどのことが、この「雪国で考える」のなかで学べてとても良かった。(医学部1年)

## 山形の火山、世界の火山

## 後期

担当教員 | 伴 雅雄

曜 日 校 時 | 月曜日 7・8

## 授業の目的

草津白根山、新燃岳と目立った噴火が続いていますが、日本はこのような活火山を多数抱える世界有数の火山国です。山形や東北地方にも蔵王山、鳥海山を代表として活火山がたくさんあります。火山はひとたび噴火を起こせば災害をもたらします。この講義では、世界の火山の分布、型、噴火様式、噴出物など火山についての基本的な知識を修得した上で、山形の身近な火山の噴火の歴史、また噴火災害について考えています。

## 授業内容

各回のテーマに関してパワーポイントや視聴覚教材を用いて説明を行います。パワーポイントのシートは印刷して配付します。また、知識を深めるために演習を行います。学生主体型の演習も取り入れます。日程は以下のとおりです。

- 第 1 回 講義の進め方とガイダンス  
第 2 回 噴火の実例：演習  
第 3 回 火山の分布と火山の型  
第 4 回 噴火のタイプと噴出物の種類  
第 5 回 噴火のタイプと噴出物の種類：演習  
第 6 回 ハザードマップ、噴火シナリオ  
第 7 回 山形や東北の火山の噴火の頻度：演習  
第 8 回 吾妻山  
第 9 回 蔵王山  
第 10 回 世界の巨大噴火：演習  
第 11 回 噴火サイクル：演習  
第 12 回 鳥海山、その他の火山  
第 13 回 火山との共生  
第 14 回 火山との共生：演習  
第 15 回 まとめと到達度評価



## 授業で学べる山形関連情報

対象市町村：  
山形市、上山市など

地域学習タイプ<sup>6</sup>

講義型 ●——●——●——● 体験型

協働学習タイプ<sup>⑥</sup>

個人 ●—●—●—● グループ

## 授業PR

日本は世界有数の火山国ですが、これは地球の営みから考えると必然的であることがわかります。このような火山国に生まれた私たちは、火山と共生していく宿命にあります。火山は多くの恩恵をもたらしますが、一方で災害も引き起こします。うまく付き合っていくには火山を知ることが必要になります。この授業では、受講した人達が火山とうまく付き合うことができるようにしたいと思います。そのためにもなるべく欠席しないようにして下さい。



# 文化遺産からみた山形

後期

担当教員 | 荒木 志伸

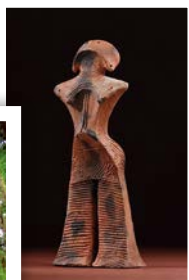
曜日校時 | 火曜日 3・4

## 授業の目的

文化遺産から山形について学び、地域への理解を深める授業です。山形大学に在籍している4年間はもちろん、卒業後も山形という土地とそこで触れた文化に少なからず影響されることが多いはず。山形には素晴らしい文化遺産がたくさんあります。それらを学び、地域への誇りと愛情を持つようになってください。

## 授業内容

講義形式で、山形の国宝、日本遺産、仏像、建造物、古文書、民俗文化財について解説していきます。なお、授業内容をふまえた上で、各自が選んだ文化遺産について都合の良い日程で学外見学をして頂き、レポート提出をしていただきます。



### 授業で学べる山形関連情報

対象市町村：  
山形市、鶴岡市、米沢市、  
寒河江市、舟形町

上記の市町村を中心として、山形の豊かな文化遺産に関する基礎知識を得ることができます。



### 地域学習タイプ

講義型 ● 体験型

### 協働学習タイプ

個人 ● グループ

## 授業PR

「山形ってどんなところ？」と聞かれて、1つでも2つでも自らの表現で語ることができるようになってください。山形には誇るべき歴史や文化財が沢山ありますが、それらの内容と背景を学ぶことで、山形を大好きになっていただきたいと思います。本授業は2018年より新規開講の科目です。Web Class機能を使いながら、皆様のご意見をいただきながら、授業を進めたいと思います。

# グローバル社会で活躍するために —国際派の先輩をお招きして—

後期

担当教員 | 高橋 辰宏

曜日校時 | 火曜日 7・8

## 授業の目的

海外だけではなく、国内、県内、キャンパス内でも、グローバルに対応できる実践力が必要な時代です。多様な講師の熱い講義の中から、グローバル社会に生きることを考え、グローバルにチャレンジする行動をすることを目的にします。(担当教員紹介：アメリカ・ドイツの企業・大学で研究開発を経て山形大学へ、専門は化学、数多くの学生を海外企業大学へ長期インターンシップ派遣し、現在、企業だけでなく学生も参画する日独産業クラスター間の連携を先導。)

## 授業内容

毎回さまざまな外部講師の話聞き、質問する、グループで議論します。外部からの予定講師は、一般社団法人山形県国際経済振興機構・認定NPO法人IVY・株式会社シェルター・一般財団法人東北多文化アカデミー・フランス化学企業・アルケマ株式会社・日本貿易振興機構(ジェトロ)山形貿易情報センターなど多様です。さらに、海外留学してきた先輩学生(文系・理系)にも講師として登場してもらいます。また、文系・理系の学生が混在するグループで議論をして切磋琢磨ができ、さらに、グローバルにチャレンジする自分の行動計画をプレゼンテーションで最終発表することで、グローバルにチャレンジする自己成長を促します。



### 授業で学べる山形関連情報

対象市町村：  
山形県全域

山形県内でも、いかにグローバルと身近につながっているかを多様な講師からの授業を通じて感じて考えてもらいます。



### 地域学習タイプ

講義型 ● 体験型

### 協働学習タイプ

個人 ● グループ

## 授業PR

受講者から以下のような感想があり、他の授業と違い、やる気を刺激する授業だと高い評価です。

- グローバルに活躍するためには、単に英語ができればいいことは違うことがわかった。英語は手段で、自分の専門性をもつことも必要だとわかった。
- 山形県内でも身近に農業・食品・工業などで、こんなにも世界と輸出入でつながっていることがはじめてわかった。
- 留学してきた先輩学生の話きいて、自分もあのようにになりたい、自分もできるのではと思い、在学中に留学しグローバルに活躍したいと強く思った。
- グループ議論を通じて、はじめて他学部の学生と議論ができる機会があり、分野はちがってもグローバルにチャレンジする考え方や見方が、非常に刺激になった。



# 観光経済学と地域ブランド

後期

担当教員 | 田北 俊昭

曜日校時 | 水曜日 3・4

## 授業の目的

「観光経済学と地域ブランド」では専門知識を学ぶだけでなく「グループワーク」を行い、地方創生の視察を行い「産学官連携セミナー」を実施することが目的である。大学初学年の基盤共通教育から専門教育（人文社会・自然科学・医学・工学・農学等の個別分野）へと知識を深めていく段階で、都市・農山村地域の持続可能な発展に貢献できる人材となるような考え方を身につける。受講者の趣味や食など日常的な関心も共有し、観光経済学や地域ブランドに関する「理論の修得」に併せ「実践的運用」能力も身につける。観光地や農山村地域の地域ブランド商品及びサービスの日本及び世界ブランド化を創り上げる能力を磨き上げることが目的である。

## 授業内容

「観光経済学と地域ブランド」についての専門知識を用いたグループワーク、さらに、山形県の特定地域の視察及び関係者との研究フォーラムを開催する。毎回セミナー形式で、1. 観光経済学と地域ブランド戦略について 2. 観光の歴史 3. 観光と行動 4. 観光情報と観光情報産業 5. 観光と交通 6. 観光資源 7. 観光と環境 8. 観光と文化 9. 観光施設 10. 観光と経済 11. 観光消費 12. 観光政策 13. 観光と地域社会 14. 観光と風景 について取り扱う。観光経済学の概念を身につけたあと、地域ブランド戦略の組み立て方を学び、最後に、城下町や温泉地等の観光地（村山・置賜・最上・庄内地方／隣接県域を含む）のいずれかの地域において、視察及び産学官連携の研究フォーラム等を開催する。山形の観光地やお祭り及び食文化を体験し、世界ブランド戦略を提案する。



## 授業で学べる山形関連情報

### 対象市町村：県内市町村

（隣県にまたがる場合もある）  
農業県及び観光県である「やまがた」は、高級米「つや姫」、果物では「さくらんぼ」や「ラフランス」等、畜産では、米沢牛や金華豚・三元豚・やまがた地鶏等、高付加価値型地域ブランド商品では、家具（天童木工）、山形絨毯（オリエンタルカーペット）等、「温泉観光」では蔵王・銀山温泉等を有する。日本の先進的な「やまがた」の地域・観光ブランド戦略を学ぶことができる。



山形大学

## 地域学習タイプ

講義型 ● 体験型

## 協働学習タイプ

個人 ● グループ

## 授業PR

平成29年度の『観光経済学と地域ブランド』では、産学連携のもと「米沢藩上杉家及び地域の伝統文化を学び観光経済の活性化と地域ブランドづくりに活かす」を実施した。米沢城下では「米沢市上杉博物館」と「上杉伯爵邸」、日本を代表するお笑い芸能産業「吉本興業」との連携、「米沢藩赤湯御殿」のあった南陽市では、元大蔵大臣・日銀総裁、日本興業銀行を創設した結城豊太郎関係の「南陽市結城豊太郎記念館」、日本有数の民話の発信基地の「南陽市夕鶴の里資料館」との連携、南陽市観光協会・商工会の協力のもと進められた。米沢市及び南陽市での産学連携のセミナーと研究フォーラム、芸能文化作品の共同創作（吉本興業／落語）、夕鶴の里語り部の活動紹介と民話実演により、山形県置賜地方の日本・世界ブランド戦略の重要性を学びました。

# 人間の生活と食の安全・安心Ⅱ

後期

担当教員 | 長谷 修 / 小笠原宣好 / 角田 憲一

曜日校時 | 木曜日 7・8

## 授業の目的

戦後の食糧不足の時代を乗り越えて、豊かな食生活が保障されているかに見える現代の日本において、食の安全と安心に対する関心が高まっております。本講義では、農学の領域にある植物病理学、園芸学、栽培土壌学的な視点から食の安全と安心の意味を学ぶことを目的とします。また、山形県を含む地域の関連事例を紹介し、地域の視点からも学ぶことを目的とします。

## 授業内容

植物病理学、花卉園芸学、栽培土壌学を専門とする3人の教員が、それぞれ試験を含む5回ずつ講義を分担して担当します。担当ごとのタイトルと授業ごとのタイトルは以下のとおりです。

「植物保護学の視点から見た人間の生活と食の安全安心」（長谷）  
作物病害、農薬、減農薬病害防除、遺伝子組換作物

「園芸学の視点から見た人間の生活と食の安全安心」（小笠原）  
園芸生産の特徴、生産者・消費者への安全安心、環境への安全安心、安全安心のための取組み

「栽培土壌学の視点から見た人間の生活と食の安全安心」（角田）  
化学肥料と食の安全、化学肥料とは何か、有機物と無機物、肥料・環境・食の安全

## 授業で学べる山形関連情報

### 対象市町村：鶴岡市

山形県内の植物防疫に関する取組み情報  
山形県内の花き生産における環境負荷軽減の取組み  
鶴岡市の特別栽培、有機農業、及び普通栽培の実態



山形大学

## 地域学習タイプ

講義型 ● 体験型

## 協働学習タイプ

個人 ● グループ

## 学生へのメッセージ

授業担当者によって違った視点からの問題提起がなされると思いますが、それらを基にして皆さんが自分自身の考え方、ものの見方を深めてください。

# キャリア形成とワークライフバランス

後期

担当教員 | 井上 榮子

曜日校時 | 木曜日 7・8

## 授業の目的

- 山形で活躍する講師の方々による講義を通じて、男女が共に仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）を保てる働き方について考え、自らのキャリア・ビジョンを描くことを目的とします。
- 21世紀日本の最重要課題である「男女共同参画社会」について深く理解し、どのような課題をどのように解決するのか具体的に考えます。
- 学生主体型授業や新聞活用などを通じて、社会人基礎力を身につけることを重視します。

## 授業内容

- ゲスト講師の授業は、講義、質疑、まとめで構成します。学生主体で進め、事前の講師への連絡や講義・質疑の進行などを順番に担当し、全員が積極的に参加しています。
- ゲストによる授業以外は、グループごとの課題探究学習を行い、最後にレポート発表を行います。
- 新聞切抜きレポートに取組み、社会人として必要な新聞を読む力を身に付けます。



## 授業で学べる山形関連情報

- 山形県は共働きの割合が全国1位で、育児をしながら働いている女性の割合も全国2位で、男性も女性も働きやすい職場づくりや男性の家事・育児への参加を積極的に進めています。その山形で活躍する講師の方々との出会いをとおして、ワークライフバランスについて深く学ぶことができます。
- 山形大学はダイバーシティ環境の実現に力を入れ、保育支援も充実しています。授業では、小白川キャンパスにある保育所を見学し、保育士さんへのインタビューや子どもたちとの交流を行います。

## 地域学習タイプ

講義型 ● 体験型

## 協働学習タイプ

個人 ● グループ

## 受講者の感想

- 山形で活躍されている女性・男性の講義をお聞きし、自分の価値観や視野が格段に広がった。また、講義への質問や内容をまとめることを通じ、これからの様々な場面で使えるスキルを修得できたと思う。
- これから生きていく上で参考になる話を聞くことができて良かった。本当の学びとはこのようなことだと実感した。質疑応答などを通じて、新たな発見があることも知った。
- 分かれ道での選択や自分らしさをどのように磨いていくかなど、これからの人生で役に立つお話しがかった。自分で司会進行などを担当してみても、効率的な運営方法が身に付いたと思う。
- 今まで経験しなかったことを経験させてくれた授業だったし、自分の考え方を考えることができた。スマホで気になるニュースを見る程度だったが、新聞のメリットがわかった。
- キャリアについて先生方それぞれの価値観に触れることができ、本当に楽しく勉強することができた。

# 近代文学の中の山形

後期

担当教員 | 森岡 卓司

曜日校時 | 金曜日 3・4

## 授業の目的

日本近代文学の中にあらわれる山形という地域表象の生成と変化とを、文化的な観点から辿ります。現在、私たちが常識のように考えがちな地域イメージが、どのように作られ、変化してきたものなのかを学びます。

## 授業内容

まずは、特定の「地方」を表象するという現象について、理論とともに理解します。そのうえで、メディア的な言説や報道写真の事例を分析しながら、東北（特に山形）表象の近代史についてその概要を把握していきましょう。また、それらの表象が現在の地域においてはどのように用いられているか、各受講者の実地調査に基づいて検討します（受講生がプレゼンテーションを行います）。そのうえで、山形表象について深く思索し、また大きな影響を与えてきた文学者たちの作品を学び、わたしたちがいま東北、そして山形という地方を語ることは、どのような意味を持つのか、考えを深めていきましょう。

## 授業で学べる山形関連情報

対象市町村：  
山形県全域

山形、東北イメージの変遷について、現代の山形市における「山形（東北）表象」の具体的な事例に即して説明できるようになります。



## 地域学習タイプ

講義型 ● 体験型

## 協働学習タイプ

個人 ● グループ

## 授業PR

個別の事象に関連づけて理解し、問題の本質に迫るための、理論的な見通しの修得を大事にしています。こうした能力は、専門分野にかかわらず、大学生としてとても大事な教養だと考えています。個別のテキスト理解や実地の調査も、その応用課題として位置づけられます。過去の受講生からは、「〈地域について考える〉とはどういうことなのかを考えさせられた」という声もありました。

# 歴史民俗資料を読み解く

後期

担当教員 | 阿部 宇洋

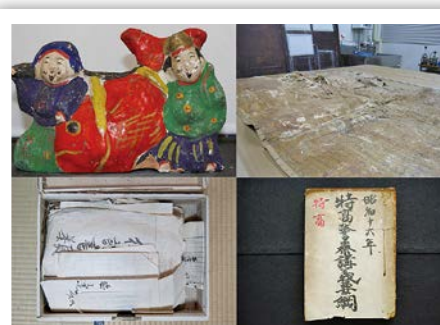
曜日校時 | 金曜日 3・4

## 授業の目的

身近な歴史や民俗事象から情報を読み取り、観察することにより、山形への理解を深める。また、山形を知ること、比較軸を形成し、さまざまな視点で社会を見ることができるようになることを目的とする。

## 授業内容

基礎的な内容を講義し、その後課題を提示します。課題に対して討論(ディスカッション)→調査(グループワーク)→報告、発表をしてもらいます。また、研究、文化財行政の最前線で活躍されている方から講義をしていただきます。『やまがたの歴史民俗資料』『口承資料を考える』『怪異、モノノケ、不思議なことを読み解く』『戦争と資料(軍事郵便と特別高等警察)』などを中心に授業を行います。



### 授業で学べる山形関連情報

対象市町村：  
県内全市町村

山形に関する資料を使用します。また、1回は山形県内にある、歴史民俗系博物館に訪ねてもらいます。



### 地域学習タイプ

講義型 ● 体験型

### 協働学習タイプ

個人 ● グループ

## 授業PR

本講義は歴史民俗資料学が学べる唯一の講義です。「あるく・みる・きく・かんがえる」ことでこれまでの学校生活では体験した事のない知的探究心を育むことになります。自身で壁を作らず、挑戦してください。古文書や民具などの実物の資料を実際に扱います。

# 新聞で山形を知る

後期

担当教員 | 山本 陽史

曜日校時 | 金曜日 5・6

## 授業の目的

この授業では山形県全域をカバーする山形新聞の記事を題材にして、山形の社会・文化の現状についてのニュースを読んで分析するとともに、「山形から見ると日本・世界はどう見えるか、その動きが山形とどのようにかわっているのか」を分析し、的確な情報収集・分析力を身につけていきます。また、新聞記事の構成や文体を分析し、「伝わる」日本語の文章の書き方をマスターします。

## 授業内容

毎回当日の山形新聞を中心に、タイムリーな新聞記事を取り上げ、その記事の背景を解説するとともに、その記事を手がかりにして調査や話し合いをします。また、何回かは全国紙(読売・朝日・毎日など)やブロック紙(河北新報)と同じ話題を取り上げた記事を取り上げ、比較します。また、新聞の文章を分析し、それにならって新聞記事風のレポートを複数回書いていただきます。レポートには添削を加え、改善すべき点を指摘しながら、各自の最終レポートを仕上げていきます。

### 授業で学べる山形関連情報

対象市町村：  
県内全市町村

県内で起きているさまざまな社会現象や文化活動、山形が現在置かれている状況、山形の歴史や将来像などを知ることができます。



### 地域学習タイプ

講義型 ● 体験型

### 協働学習タイプ

個人 ● グループ

## 授業PR

新聞を読むのは億劫だという人の参加も歓迎します。新聞なんて読まなくてもネットでニュースはわかるから新聞は不要という考えは安易すぎます。新聞は単にニュースを伝えるための道具ではありません。理系文系を問わず、社会常識を知り、新聞記事のような文章を書けるようになることは社会人になるため、社会人として活躍するためになる武器を手に入れたことになるのです。将来の就職活動に向けて、かならず役に立つ授業です。



# 地圏の暮らしを地学する

後期

担当教員 | 丸山 俊明

曜日校時 | 金曜日 7・8

## 授業の目的

地球表層は岩石・水・大気そして生物によって取り囲まれており、それぞれ地圏（岩石圏）・水圏・気圏・生物圏として認識されています。私たちが生活している大地、すなわち地圏が永い変動を経て今日の姿に至ったことを解説します。この講義では、私たち日本人が地球上のどのような場所に暮らしているのかを地球科学的に考察し、地球表層で起こったさまざまな環境変化や生物進化の歴史が地層や化石に記録されているようすを紹介し、地球科学的な観点から日本の中の山形、世界の中の山形という動機付けを会得してください。

## 授業内容

1. ガイダンス、あなたと地圏とのかわり
2. 島弧-海溝系としての日本列島、あなたはどこに住んでいますか
3. 火山と日本列島、火山災害から命を守る
4. 地震と日本列島、マグニチュードって何ですか
5. 火山と火成岩、あなたの家の墓石は何ですか
6. 地球の歴史と生命の進化、生きている化石
7. 地球の歴史と生命の進化、恐竜からヒトまで
8. 地質年代と系統、T・レックスとジュラシックパーク
9. 生物の名前と地層の名前、山形大海牛を知っていますか
10. 地下水と地盤沈下、山形名物の無散水消雪って何ですか
11. 新しい大地をつくる、関西新空港の秘密
12. プレートテクトニクス、VLBIって何のこと
13. 深海調査、潜って調べて（または過去の津波に学ぶ）
14. 深海調査、進め「ちきゅう」
15. 期末考査（授業のまとめと期末試験）

## 授業で学べる山形関連情報

### 対象市町村：山形県全域

題材としては、例えば1000万年前に山形盆地を泳いでいた海牛化石などを取りあげて身近な郷土の過去の姿を探ったり、山形市内で実用化されている地下水を使った消雪システムなど、現実の生活に深く関わったテーマも扱います。



## 地域学習タイプ

講義型 ● ○ ○ ○ 体験型

## 協働学習タイプ

個人 ● ○ ○ ○ グループ

## 受講者の感想

- 山形で生まれ育ったが、はじめて聞く話ばかりだった。
- 小学校の遠足で行った県立博物館にもう一度行ってみようと思った。
- 受験で来た時に駅前に雪がなかった理由がわかった。
- 自分がどんなところに住んでいるのか気がついた。

# 仕事の流儀

～プロから学ぶ仕事のやりがい～

後期

担当教員 | 松坂 暢浩 / 山本美奈子

曜日校時 | 金曜日 7・8

## 授業の目的

本授業は、山形県内の企業や自治体の現場に活躍する職業人（プロフェッショナル）の話を聞き「働くこと」について考えることを目的にしています。講師のリアルな体験談やキャリア観、仕事観を聞き、自分にとって働くとは何か、卒業後にどのような仕事に就きたいかなど将来のキャリアにつながるヒントを見つけてください。また、働くことを前向きに捉え、社会に出るまでの大学生活をどのように過ごすかを考えてみましょう。

## 授業内容

- 本授業は、アライアンスネットワーク企業、本学OB・OG、山形に馴染みのある方などを講師としてお招きします。まず講師の先生の話聞き、その後ペア・グループでの振り返りと講師への質問を考えます。そして質疑応答を通して、働くことに対する理解を深めていきます。  
※アライアンスネットワーク企業とは、本学のキャリア・就職支援に協力いただいている山形県内を中心とした企業になります。  
URL: <https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/employment/student/alliance/>



## 授業で学べる山形関連情報

### 対象市町村：県内全市町村

山形県内の企業や自治体で働く魅力。



## 地域学習タイプ

講義型 ● ○ ○ ○ 体験型

## 協働学習タイプ

個人 ● ○ ○ ○ グループ

## 授業PR

### 【授業評価】

教員独自のアンケート調査で、インターンシップ参加満足度が99.3%（152名の回答者のなかで、「大変満足」と「満足」を選択した学生が151名）。

### 【過去の履修学生の声（アンケートの感想から一部抜粋）】

「この講義は一番印象に残る大好きな講義でした。来年度も後輩たちやたくさんの人に「働く」ということを考えてもらえるような講義を作ってもらえればと思います。」

「普段触れ合わない社会人の方々の話を聞くことで、働くことに対する視野が広がり、また山形の企業に対しての興味が生まれました。」

「大学の中にいると社会人と交流する機会はほとんどありません。この講義では普段聞くことができない社会人の方のお話をたっぷり聞くことができました。」

# 山形から考える地域産業

後期

担当教員 | 吉原 元子

曜日校時 | 集中

## 授業の目的

- 地域産業のあり方は、地域の雇用、生活、社会、文化のあり方と密接に関係します。そのため、地域を支える産業の見方を知り、その姿を正確に捉えることが大切です。
- 山形の将来を展望するために、地域産業の実態を知ることが授業の目的です。
  - ・地域産業をデータから把握します。
  - ・地域産業の中でも「ものづくり」の現場を、五感を使って確かめます。

## 授業内容

事前学習、フィールドワーク（工場見学）、グループでの検討、プレゼンテーションという流れで地域産業への理解を深めます。

1. オリエンテーションー 地域産業と地域経済
2. 地域経済分析システム (RESAS) から地域産業の特徴を把握する
3. フィールドワークの準備ー 地域・企業の事前学習
4. フィールドワーク実施ー 山形県内のものづくり企業を訪問
5. グループ単位による調査結果の集約、分析、ディスカッション
6. 成果発表及び質疑応答

※本講義は後期集中です。詳細は説明会で連絡します。



### 授業で学べる山形関連情報

対象市町村：  
尾花沢市

- 地域経済分析システム (RESAS) から山形県の産業の特徴を知ります。
- フィールドワーク（工場見学）は、尾花沢市の企業に訪問する予定です。



### 地域学習タイプ

講義型 ● 体験型

### 協働学習タイプ

個人 ● グループ

## 学生へのメッセージ

- 実際に手を動かしてデータを扱ってみる、事前学習で疑問を発見する、工場の現場を体感する、企業の方に質問をするなど、五感を使って学ぶことで山形県の産業の新たな一面を発見することができるでしょう。
- 文系・理系の学生を問わず、地域産業や製造業に関心がある方にはぜひ受講していただきたいと思います。

# 雪とともに生きる体験

後期

担当教員 | 滝澤 匡 / 阿部 宇洋

曜日校時 | 集中

## 授業の目的

- 豪雪地である尾花沢市・市野々地区の地域活動に季節を通じて参加し、雪との生活の実態とそこから生まれた知恵、文化、共助の精神を学びます。
- 山形の魅力を五感で学び、深みある知識として修得することで、山形や地域への関心を高めてくれることを期待しています。
- 地元講師や学生との協働では、年齢や背景の異なる多様な人々の組織で活動する楽しみに出会い、社会人を向上させることができます。

## 授業内容

世界有数の豪雪地である尾花沢市・市野々地区の地域活動へ季節を通じて参加します。

- 1) 8月には松尾芭蕉が通った峠で開催されるイベントの運営に参加します。
- 2) 11月には冬への備えとして地域で行われる活動へ参加します。
- 3) 1月の活動では、2m近い積雪の中で高齢者宅や地域施設などの除雪を行います。

### 【授業計画（日程）】

1. ガイダンス → 2. 履修決定 → 3. 事前打合せ → 4. 現地での演習 8月、11月、1月 合計約5日間 → 5. 成果発表会（2月予定）



### 授業で学べる山形関連情報

対象市町村：  
尾花沢市

尾花沢市・市野々地区の地域活動に参加し、文化、生活様式、共助の精神にふれながら、豪雪との暮らしを学びます。



### 地域学習タイプ

講義型 ● 体験型

### 協働学習タイプ

個人 ● グループ

## 授業PR

地域の方々とともに汗を流す協働作業を通じて、社会で求められる力を向上できる授業としても、学生たちから好評です。

### 【過去の受講者の感想】

- 体力的には大変であったが、様々な人達と関わることで自分の知らない考え方や生活を学ぶ有意義な経験だった。
  - 丁寧に教えていただき、心のこもった指導をしていただくことがこんなに楽しいことなのかと大きな発見ができた。
  - 地元（都会）では見ることができない、助け合いの精神がとても心地よかった。
- 【社会人力の向上】 学生自身によるコミュニケーション力やチームワークなどの評価が3.2（受講前）→ 4.1（受講後）と変化
- 【授業評価】 学生による授業評価は4.7/5（H29：Q 総合的に判断すると良い授業でしたか？）





## リーダーシップ論入門2

後期

担当教員 | 阿部 宇洋

曜日校時 | 集中

### 授業の目的

リーダーシップは特別な理論ではなく、日々の生活に存在します。これから、学生生活、社会生活を送るために、必要な力です。一般的な認識ではカリスマ型リーダーシップをモデルにする場合があります。しかし実際に必要とされるのは、関係性リーダーシップであり、本講義では山形で活躍する様々なゲスト講師を招き、リーダーシップの本質を探りながら各自の今後の目標を設定し成長できるようにすることを目的とします。

### 授業内容

4日間で行う集中講義になります(オリエンテーション1回、集中講義3日)。  
ゲストを変えながら、下記項目を6回(1日2回)実施します。

- ・講義(30分)
- ・ゲスト講師講演(1時間)
- ・話を聞いて、まとめと質問を考える(30分)
- ・ゲストとの議論(1時間)
- ・全体のまとめ、発表(30分)



#### 授業で学べる山形関連情報

対象市町村：  
県内全市町村

全域対象とした、ゲスト講師。



#### 地域学習タイプ

講義型 ● 体験型

#### 協働学習タイプ

個人 ● グループ

### 授業PR

山形で活躍する様々なゲストと話し合う講義です。  
皆さんには、山形で活躍するリーダーに自らアポイントを取り、交渉し、講演依頼していただきます。  
積極的な活動を望みます。

## ホンモノの地域貢献と地域活性化とは何か —山形を元気にする企業家から学ぶ—

後期

担当教員 | 浅野 茂/福島 真司/齋藤 志直

曜日校時 | 集中

### 授業の目的

- 真の地域活性化とは何か、自分自身で主体的に生きるとは何かを、山形に生き、山形を元気にする、起業家、企業経営者等の企業家の方々から学びます。
- 講演を聴くだけでなく、多くの企業家や受講者とのグループ討論を通し、自分自身が志を高く、夢を抱いて、主体的に社会に貢献しながら生きるとは何かを、考え抜きます。
- 起業家を目指すみなさんはもちろんのこと、教員、公務員、ビジネスパーソン、NPO、医療従事者、土業等をめざすみなさんにとっても、知識、マインド、人脈を得る上で、極めて重要な経験を得ることができます。

### 授業内容

授業は、**A.**山形大学での授業(毎回10名程度の企業家が参加)、**B.**中小企業家同友会会員企業への企業訪問、**C.**山形県中小企業家同友会例会等の企業家同士の真剣勝負の勉強会参加、という3つの区分に沿って、以下の日程及び要領で実施します。  
Aは、10月から翌年1月の間に計3回開催(原則必須参加)  
Bは、11月及び12月に計2回実施(原則必須参加)  
Cは、10月~翌年2月の平日夕方方に計約10回以上開催(うち2回に参加が条件)



#### 授業で学べる山形関連情報

対象市町村：  
山形県全域だが、主に山形市、東根市、寒河江市

毎回約10名の山形の企業家のみなさんが参加し、議論を重ねることで、山形を活性化させている企業家の生き方から、ホンモノの地域貢献や活性化の姿を得ることができます。



#### 地域学習タイプ

講義型 ● 体験型

#### 協働学習タイプ

個人 ● グループ

### 授業PR

「起業」「企業」志望はもちろん「公務員」「教員」志望学生も受講すべき“今、ここでしか経験できない”刺激的な授業です。授業期間を通して、地域づくり、人づくりを目標にする、志の高い、実績ある地域企業経営者100名以上の交流で「学生ではあり得ない人脈」に触れられます。多くの企業家のみなさんと議論をしますので、ホンモノのコミュニケーション能力を付けたい皆さんにも最適です!

#### 【過去の受講者の感想】

実際社会人の人と話すことで、自分は将来この方々のように働きたいという実感を味わうことができました。何よりこの授業では、社会人を交えて同じ年くらいの人達と将来働くことに対する考えについて話し合うことができたのが1番良かったと思います。実際、友達同士と真面目に働くことについて話し合うことは滅多にないので、色々な学科学部交えて一人一人が考えている将来像を聞くことができて良かったです。この授業で得たものはとても貴重なものだったと感じています。

#### 【授業評価】

学生による授業評価は4.9/5で、受講生の多くが学習内容に満足(H29:Q総合的に判断すると良い授業でしたか?)



## 現地講師からの学び方

地域学習では、担当教員に加えて、現地講師から学ぶ機会があります。

### 心構え

- 現地の方のご厚意により、授業が行われています。常に感謝の気持ちを忘れずに、学習してください。
- 話を聞くだけの受動的な学びから、能動的に理解する学びへと変えていきましょう。

## 1 話を聞く

- 現地講師を中心にして、声の届く範囲に自分たちで集まりましょう。そうでないと、講師の方は大きな声をあげなければいけません。
- 資料やメモに集中しすぎず、顔をあげてお話を聴き、うなづきなどで理解を示します。
- ひとりひとりの行動が授業のムードを作ります。学生同士の私語は慎みましょう。



## 2 質問する

- 不明な点があれば、すぐに質問しましょう。
- 方言などが聞き取りにくいかもしれません。遠慮せず、うかがいましょう。
- 自分の理解に自信がなければ、「～とのことで正しいでしょうか?」と確かめることも必要です。
- 質問することは、こちらの興味・関心を伝えることになります。

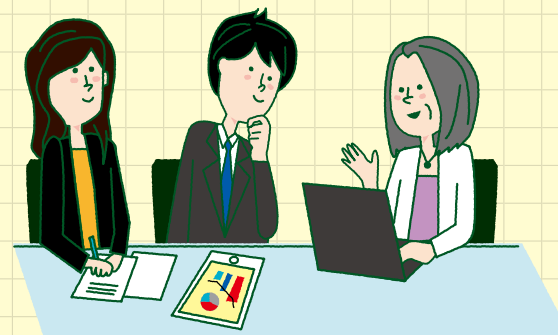
## 3 移動や休憩中も

- バスの乗降、現地での移動は素早く行って下さい。講師の方が皆さんを待つことがないように注意して下さい。
- 移動中も授業です。地域住民の目を意識し、山形大生として相応しい行動を心がけて下さい。
- 移動中も現地講師の方とお話できる機会があります。説明の際にできなかった質問などもうかがってみて下さい。



## 4 将来的に

- 現地講師から話をうかがうなど、自ら積極的に学ぶ姿勢は、将来の皆さんにとって必要な能力となります。
- 年長者や先輩に教えを求めたり、年齢や背景の違う人に話をしたりする場面で、現地講師から学んだ経験がいかされます。
- 将来を見据えて、大学での学びを進めて下さい。





## 現地体験の服装

### 服装について

教室を離れて地域で学ぶ際、服装はとても重要です。  
大学生として最低限のマナーであるだけでなく、皆さんが安全かつしっかりと学ぶための準備でもあります。  
活動場所や季節にあわせた、適切な服装で地域での学習を存分に楽しんでください。

#### 持ち物



飲み物  
(水分補給)



着替え  
(特に、農作業や除雪時)

### 街場での活動

動きやすく、歩きやすい  
服装を重視して下さい。

#### 適切な服装

派手な色彩や過度な露出  
は控え、大学生としてふ  
さわしい服装を心がける。

#### 歩きやすい靴

スニーカー等が良いでしょ  
う。屋内へ移動すること  
もあるので、脱ぎ履きし  
やすいものが良い。



#### 帽子

日差しから頭を守り、熱  
中症の予防

#### リュック

メモ等が取りやすいよう、  
両手が自由になるカバン  
が良い。

### 野外作業(夏季)

動きやすく、汚れてもよい  
服装を重視して下さい。  
汚れを気にしては充分  
に活動できません。

#### タオル

汗を拭いたり、首筋から  
虫の侵入を防ぎます。

#### 長袖・長ズボン

かぶれ、擦り傷、虫刺さ  
れ等を防ぐため、肌を露  
出しない。

#### 帽子

日差しから頭を守り、熱  
中症の予防。ハチ除け

#### 手袋

軍手でも良いが、ゴム張  
りの手袋がフィットし作業  
しやすい。

#### 長靴

草によるかぶれや虫の侵  
入を防ぎます。



### 野外作業(冬季)

防寒かつ濡れにくい服装を  
重視して下さい。  
雪かき時などは汗の管理も  
必要になります。

#### 帽子

耳まで被れるものが良い。

#### マフラー(タオル)

風の侵入を防ぎ、防寒に  
大切です。しかし、大き  
すぎるマフラーは作業の妨  
げになります。

#### アウター

風や雪(雨)を通さない  
(ナイロン性)ものが良い。  
ない場合は雨合羽などを  
重ね着する。

#### 手袋

防水性があり、防寒にす  
ぐれたもの。軍手は濡れ  
るので不可

#### インナー

吸水性がよく、乾きやすい  
素材が望ましい。除雪作  
業など汗をかく場合は、替  
えの服を用意してください。

#### 長靴

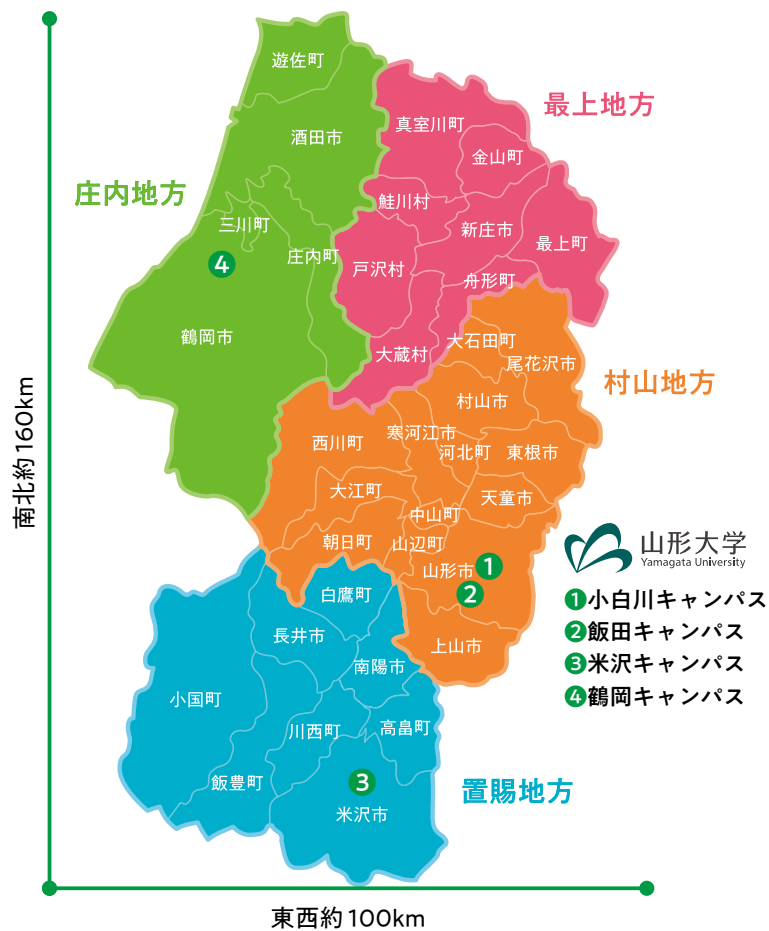
雪が入らない高さがあり、  
防水のものが良いでしょう。







## 山形県の基礎情報



人口: 約110万人 (全国35位)  
面積: 約9300km<sup>2</sup> (全国9位)  
人口密度: 約120人/km<sup>2</sup> (全国42位)

### 全国1位

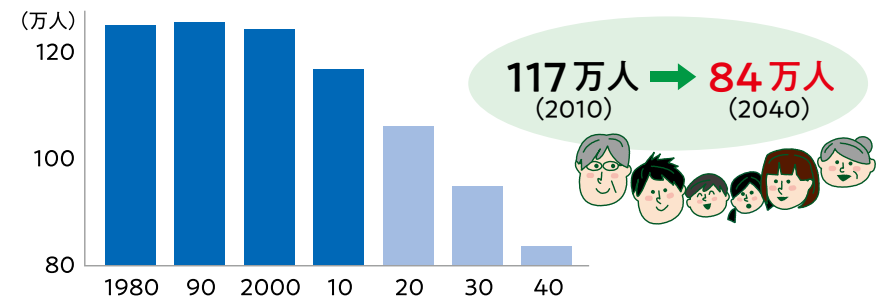
3世代同居率…17.8%  
世帯自動車所有量…2.1台

### 全国2位

共働き率…35.8%  
住宅敷地面積…408m<sup>2</sup>

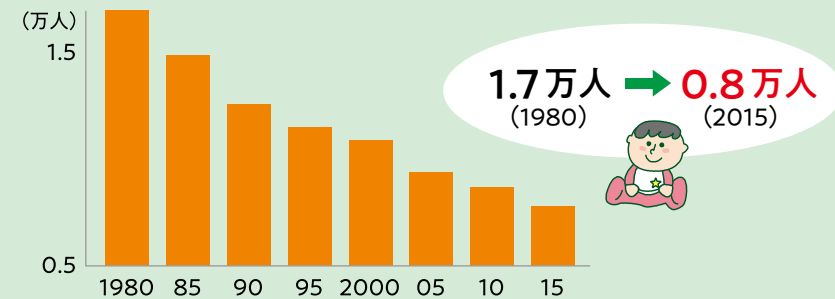
## 山形県が抱える人口問題

### ▶ 県人口が約3割減少と予測

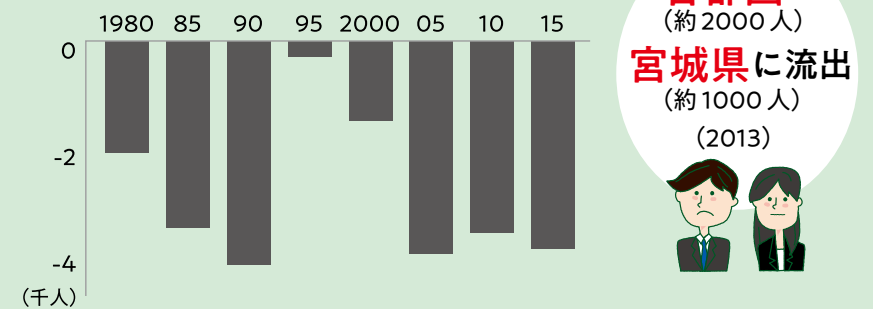


### 主な原因

#### 1 出生数の低下 (少子化)



#### 2 進学・就職に伴う流出



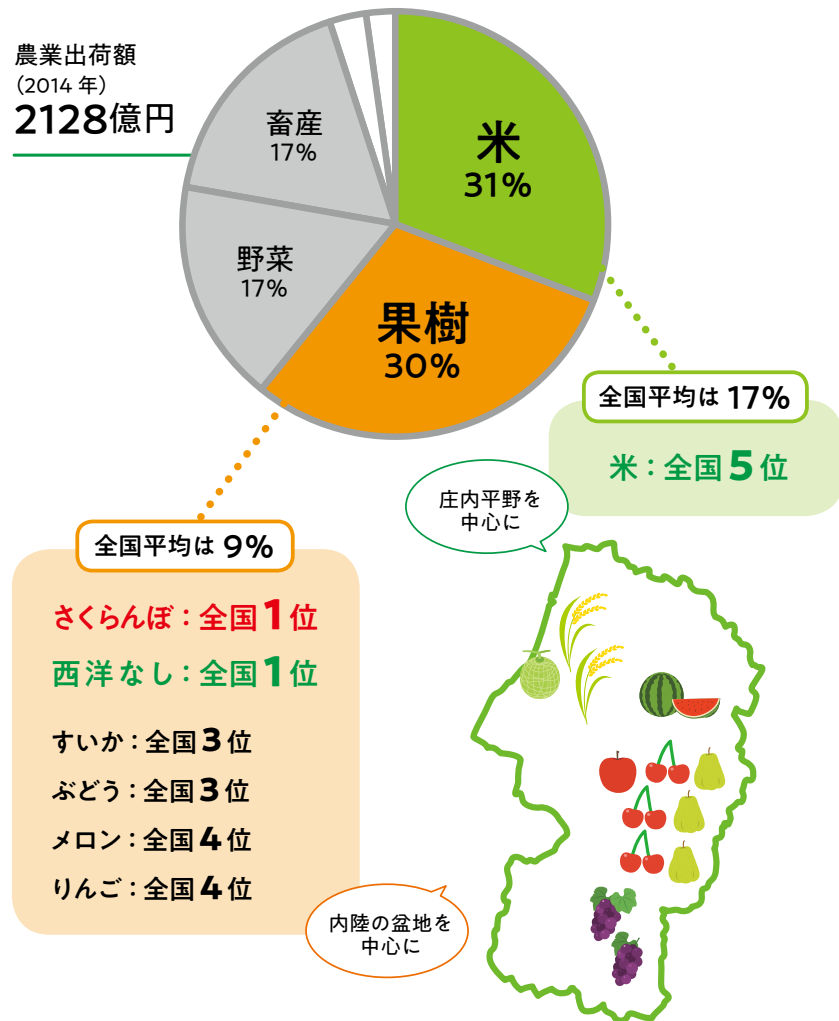
このままでは……多くの市町村が消滅の危機に。

県人口の減少を抑制するためには、雇用の拡大や所得の向上につながる産業の活性化が望まれます。

ここでは山形県の魅力となっている「農業」「ものづくり」「観光」を紹介します。

## 1 農業

農業出荷額では全国 18 位であるが、米と果樹の割合が他県に比べて高い。

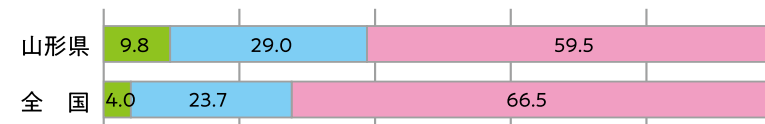


しかし、従事者の平均年齢は 66 歳。後継者の育成が重要な課題に。

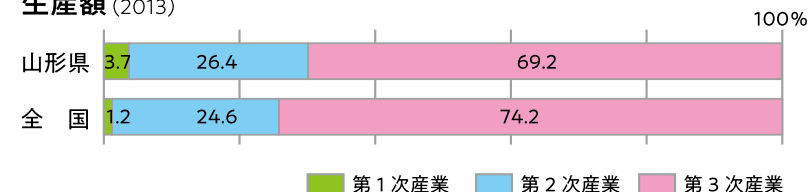
## 2 ものづくり(製造業)

就業人口、生産額において、製造業を中心とした第 2 次産業が占める割合が他県に比べて高い。

就業人口 (2010)

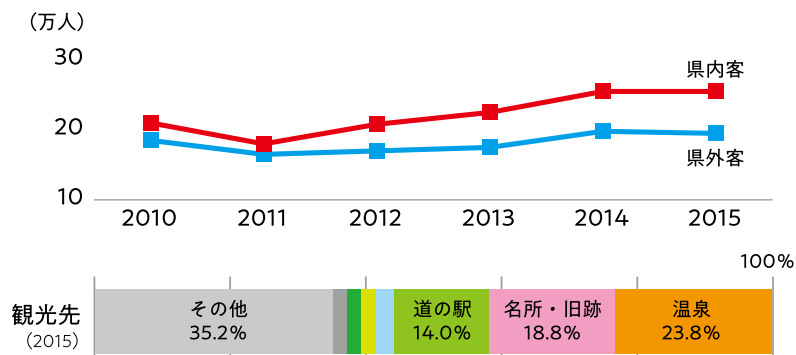


生産額 (2013)



## 3 観光

震災後も観光客数は増加し、その多くが温泉や名所・旧跡など、山形固有の魅力へ訪れている。



山形をもっと知りたい...



- ▶ 統計情報を知りたい...  
山形県統計企画課・統計情報データベース <https://www.pref.yamagata.jp/ou/kikakushinko/020052/tokeijoho.html>
- ▶ 他県との比較を知りたい ..... 日本・地域番付 <http://area-info.jp.org/>
- ▶ 人口減少問題を知りたい ..... 国立社会保障・人口問題研究所 <http://www.ipss.go.jp/index.asp>
- ▶ 研究・書籍を知りたい ... 県立図書館「山形県関係文献目録」 [https://www.lib.pref.yamagata.jp/?page\\_id=333](https://www.lib.pref.yamagata.jp/?page_id=333)
- ▶ グルメ・温泉・観光したい ..... やまがたへの旅 <http://yamagatakanko.com/>
- ▶ 広報誌やガイドブックを探したい ..... yamagata ebooks <http://www.yamagata-ebooks.jp/>

## 授業内容・履修についての問い合わせ先

小白川キャンパス事務部 教務課 基盤教育担当  
(A2 基盤教育1 1階 学生センター)